



ユーザーインターフェースの見直し

2019年9月12日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

1. ユーザーインターフェースの見直し

利用者ヒアリングやアンケート回答等を踏まえ、第7次NACCSにおけるパッケージソフトやユーザーインターフェースの改善等について検討する。

区分	概要	備考
1. 個別検討事項	ユーザーインターフェースとして提供しているNACCSパッケージソフト及びWebNACCSの改善等について検討する。	
2. 現行仕様	<ul style="list-style-type: none">・ NACCSパッケージソフトについては、第6次NACCSで、機能改善（バージョンアップ機能等）の見直しを実施。・ 新たなユーザーインターフェースとしてWebNACCSを提供。	
3. 見直しの経緯 (利用者の要望等)	<p>以下の利用者ヒアリングやアンケート実施の結果を踏まえ、ユーザーインターフェースの見直しについて検討が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none">・ A C Lカスタマイズ機能は操作性の難易度が高く、一般的な利用者向けになっていない。・ 現在、業務ツリーは全利用者で同じ構造となっており、必ずしも最適なものとはなっていない。・ 入港前統一申請（W P T）などの複数申請を行う際、エラーがまとめて表示され、どの申請の項目にエラーがあるのか分かりづらい。	
4. 次期仕様	今回は現状の課題の把握のみとし、次期仕様の提示については、今後詳細検討の場で実施する。	
5. その他		

2. 利用者アンケートを受けての課題一覧（パッケージソフト）

	項目	課題
1	コード入力の省力化	コード体系が複雑であり、過去に入力したコードはもちろん、新規に入力するコードは業務コード集から検索する必要がある、手間となっている。
2	A C Lカスタマイズ機能の操作性	A C Lカスタマイズ機能は操作性の難易度が高く、一般的な利用者向けになっていない。
3	バージョンアップのタイミング	バージョンアップについては、パッケージソフトを起動時にダウンロードしていることから、迅速に業務を開始することができない。
4	バージョンアップ単位の最適化	バージョンアップは、業務単位などに分割しダウンロードからバージョンアップまで時間を要さないような仕様になっているが、貿易管理サブシステムの証明書作成ソフトについては、一括バージョンアップとなっていることから時間がかかっている。
5	業務ツリーのカスタマイズ機能追加	業務ツリーは全利用者で同じ構造となっている。
6	古い電文の管理機能	古い電文についてはパッケージソフトで自動的にアーカイブしており、専用のメニュー画面から復帰や削除などの操作が出来るようになっているが、長期に電文保存することでパソコンのディスク容量を消費する要因となっている。
7	オプション設定画面	オプション画面はタブが多くなっており、複雑さを感じる要因となっている。
8	送信済みフォルダ配下へのサブフォルダ作成	受信フォルダ配下にサブフォルダの作成はできるが、送信済みフォルダ配下にはサブフォルダを作成できない。
9	電文振り分け設定時の機能向上	オプション設定における電文振り分け設定は、予め受信電文一覧において振り分け先フォルダを作成しておく必要がある。
10	その他性能向上	送受信電文一覧の読み込みなど、体感的に時間を要している。

2. 利用者アンケートを受けての課題一覧 (WebNACCS)

	項目	課題
1	エラー表示の改善	入港前統一申請 (WPT) などの複数申請を行う際、エラーがまとめて表示され、どの申請の項目かが分かりづらい。
2	自動保存機能	登録画面などには保存ボタンで入力情報を保存する機能が提供されている。一般的なWebサービスでは自動保存がスタンダードになりつつあるが、現在、このような機能を採用していない。
3	画面遷移の改善	現在、画面遷移はメインメニュー⇔サブメニュー⇔登録画面の間を行き来することが多く、現在位置の把握や必要な画面への遷移が難しい。
4	画面デザインの改善	<ul style="list-style-type: none">・メインメニューやサブメニューの一部にはアイコンが使われているが、単なる装飾となっている。・メインメニュー、サブメニューはカテゴリごとにタイトルが付与されているが、フォントサイズやフォントカラーにおいてクリック可能箇所との差が分かりづらい。・また、「変更」「訂正・取消」がほぼすべての業務に並んでいることが煩雑感を生んでいる。・業務画面におけるカテゴリタイトルには「^」「v」ボタンがあり、前後のカテゴリにジャンプする機能となっているが、一般的にはカテゴリの開閉に使われる事が多いデザインとなっているために誤解を招く恐れがある。

3. 現状の課題

- 画面構成が複雑で、どこに何を入力するのかが分かりにくい。
- コード体系が複雑なこともあり、コードを記憶していない場合、入力作業の都度NACCS掲示板を参照しなければならない場合があり、入力に手間が掛かっている。

(要望例)

- 入力するコードを簡単に探せるようにしたい。
- 過去に一度入力したコードを簡単に入力できるようにしたい。



1. オートコンプリート機能

オートコンプリート機能を利用できる入力項目を拡大し、コード入力を容易にする。

A screenshot of a form with three input fields. The first field is labeled '大額/少額*' and has a light blue selection box. The second field is labeled 'あて先官署' and contains the number '1'. A dropdown menu is open below this field, showing a list of options: '1A', '1B', '1H', and '1M'. The third field is labeled '輸入者'.

2. コード検索機能

コード検索機能を同一画面内に追加し、コード入力の省力化を図る

A screenshot of a form interface. At the top right, there is an input field labeled 'あて先官署' with a cursor. A red callout bubble with the number '1' points to this field. Below it, on the left side, is a section titled '入力項目ガイド' containing a search box and a list of items. A red callout bubble with the number '2' points to the search box. The list includes '1 本関', '1A 東京税関 (本関)', '14 東京税関 (本関) 埼玉方面', and '15 東京税関 (本関) 太'. A red callout bubble with the number '3' points to the '14' item in the list. A blue arrow labeled '14' points from the '14' item in the list to the 'あて先官署' input field.

(例) あて先官署を調べたい時

- ①「あて先官署」欄にカーソルを当てる。
- ②入力項目ガイドの検索BOXに文字を入力するとコードの候補一覧が表示される。
- ③候補をクリックすると、画面上に値が反映される。

4. 課題に対する対応案②

3. 過去電文の引用

パッケージソフトにメモ機能を追加することによって、過去電文検索を容易にする。



4. 業務仕様書等へのリンクの追加

入力画面から該当する業務仕様書等へのリンクを設置することで、NACCS掲示板を閲覧する手間を削減。

